

特集：2013年「オーディオ・ホームシアター展」より

「音のサロン」報告

アキュフェーズ株式会社

日本オーディオ協会理事・音のサロン委員会委員長

高松 重治

昨年のオーディオ・ホームシアター展は例年開催の秋葉原電気街から新たにお台場に移した初めてのショーであった。東京ビッグサイトから2駅離れたテレコムセンター駅とはいえ、秋葉原に比し「遠い」「場所の知名度が低い」「エントランスの使い勝手」「天候」等言えばきりが無いが、協会参加各社の努力により、数々のメリットを得る事が出来、考えられる想定内で成功裡に終わられた事は誠に喜ばしいことであった。本報告では「音のサロン」の経過・結果を論ずる。

趣旨「一聴歴然」

筆者がいろいろなところで発言・執筆するたびに「音のサロン」の趣旨を申し上げているが、「再生音楽による感動」を音楽ファン・オーディオファンの方々に実際に音で伝えるところにある。現在最新のオーディオ機器は機動性には優れてはいるものの、演奏会などを想定してじっくり聴くチャンスに欠如していることは皆さんの思う部分である。よっていろいろな場面できめ細かくファンの方々（お客様）にお伝えするには「オーディオ・ホームシアター展／音のサロン」は絶好の機会と考える。

構成「幅広く」

各ハード・メーカーが催すところの自社のホールや販売店でのプライベート・セミナーでは、システムの構成は全て自社の機器で賄うことしかできない。ところが本協会の「音のサロン委員会」は11社の専門ハード・メーカーで構成されているので、各社が協力し合って機器を提供し、数社の機器が入り交じって試聴ができるので、ファンの方々にとっては又とないチャンスである。

内容「旬であれ」

これらの内容は、ファンの方々が希望するであろうところの、現在の最新のオーディオで構成されていなければ意味がない。当委員会は専門のハード・メーカーではあるが、最新の音源提供をコンテンツ・サイドにお願いし、また最新の機器・システムなどを多数用意し、実際にファンの方々にお聴かせし、今後のオーディオの方向性などを示唆しながら、ファンの方々に選んでいただくことが重要である。

手法

実際の手法は、最新のダウンロードソースをコンテンツ事業者に提供して頂き、ダウンロードの方法をレクチャー、最新のCD・SA-CD・BD-Musicなどを試聴しながらそのソフトのシステム、内容の説明をするといった方法を取った。また、ハード・メーカーの集まりであるので最新

機器を集め、著名な評論家の説明で公平な比較試聴するなど、内容の濃い試聴を目指した。これらは個々のハード・メーカーでは出来ない構成であり、オーディオ産業として互助の精神で行ったことにより毎年多くのファンの方々が集まってくる結果となっている。

内容検討

2010年から始めた小規模の「音のサロン」は2011年には専業11社の集合体によって、大きく膨らむ事となった。

1. 最新高音質ソフトの紹介
2. 配信音源試聴会
3. PC オーディオ比較試聴会
4. スピーカー比較試聴会
5. 各社ハードの比較試聴会
6. コンテンツ側のソフト紹介
7. 学生によるレコード・コンサート

「音のサロン」は18F研修室で次のような内容を開催した。

開催日	開催時間	主 催	タイトル・内容	講師・出演
18日	11:00~12:00	音のサロン委員会	最新の高音質パッケージ音楽の紹介	BDmusic 各社
	13:00~14:00		最新高音質配信音源を聴く①	e-onkyo music
	15:00~16:00		JAZZの魅力を語る	伊藤 八十八氏
	17:00~18:00	真空管オーディオ協議会	モノラルレコードの醍醐味	新 忠篤氏
19日	11:00~12:00	音のサロン委員会	最新高音質配信音源を聴く②	KRIPTON HQMstore
	13:00~14:00		女性ボーカルの魅力を聴く	山口 栄光氏
	15:00~16:30		最新スピーカー試聴会	委員会各社
	17:30~18:30		学生によるクラシック・ディスク・コンサート	東大・早大・東京外大クラシック愛好会
20日	11:00~13:00	音のサロン委員会	最新PCオーディオ試聴会	委員会各社
	14:00~16:00		価格帯別コンポの魅力を探る	麻倉 怜士氏

音のサロン委員会メンバーが保有し出展したブランド名

Accuphase / Bowers&Wilkins / DALI / DENON / ECLIPS / FOSTEX / KRIPTON / LUXMAN / Marantz / ONKYO / SPENDOR / TANNOY / TRIODE / YAMAHA / ESOTERIC / SPEC / TEAC

実行

さて、実際に行われた報告に移ろう。

前述の通り、配信、BD音源などの最新ソフトの実演・紹介、ハードの比較試聴会、レコード会社のソフト紹介、真空管オーディオ、そして将来的なオーディオファンの方々の予備軍を育てる意味合いから、学生によるクラシック・ディスク・コンサートを挟んだ。

今回で4回目になる「音のサロン」は音のサロン委員会専門メーカー11社による集合団体のため、展示内容、展示機器、相互接続など煩雑を極めた。2013年1月30日には会場がまだ決定されてない時点から、音のサロン委員会を開催し検討を開始した。

会場の設営検討は8月から現場で開始した。使用する部屋は会議室であるため音を出さず環境ではなく、当然の事ながら昨年同様ヤマハ株式会社から「調音パネル」による環境整備を行った。どこの会場でも言える事だが、金具取り付けは不可であるため、パネルを取り付ける造作が必要になる。しかも秋葉原会場より大きくなったため「調音パネル」の使用枚数も増加した。



「調音パネル」使用の壁と各社
組み合わせのコンポーネント群



各社の協力体制、短時間でセッティング



立ち見の方々が続出した音のサロン会場



毎年超人気の麻倉怜士氏による
「価格帯別コンポの魅力を探る

次年度音展への検討課題としては、開演中の内容の広報不足であったので何らかの方法を考える。また、お客様の視点から出展メーカーの偏りをなくし、サロン委員会以外の会員メーカーの参加を考慮したい。

謝辞

規模の小さい専門オーディオ・メーカーは大きな展示会への参加はいろいろな面に於いて難しいことがある。「音のサロン委員会」ではこれら専門メーカーが力を合わせたことにより、立派に開催出来た事は、展示会準備委員会の厚いご支援とご理解の賜物である。また専門各社の担当者の積極的な参加によるものであった事には感謝に堪えない。また会場の音場の改善に大きく貢献して頂き、「調音パネル」とその取り付けを無償で提供頂いたヤマハ株式会社に改めて感謝する次第である。

筆者プロフィール



高松 重治 (たかまつ しげはる)

1966年トリオ株式会社入社、1972年ケンソニック株式会社創立に参画。当初は高周波機器を担当。その後、技術・製品企画・経営企画を担当。

現在アキュフェーズ株式会社顧問。日本オーディオ協会理事。AES会員。